

## はじめに

これまで岐阜県学校保健会では、学校における性に関する諸問題について、平成6年に「エイズ教育実践の手引」、平成18年、19年に「学校における性教育」を発行し、性に関する指導の目標とともに、エイズや性感染症をはじめ性に関する様々な問題に対する指導の在り方について、実践事例とともに示してきました。

近年、都市化、情報化、国際化などにより子供たちを取り巻く社会環境や生活環境は急激に変化し、子供の心身の健康にも大きな影響を与えています。中でも、性に関する問題については、インターネットやスマートフォンの普及により、性に関する情報の入手が容易になり、性行動の低年齢化を招いたり、SNS等による、性被害に及ぶトラブルが起きたりするなど、新たな問題も顕在化しています。また、エイズや性感染症等の青少年への感染も社会問題の一つとなっています。

こうした状況から、岐阜県学校保健会では平成28年度から特別研究委員会を立ち上げ、新たな性に関する課題への対応と学習指導要領の趣旨を踏まえた指導の一助となることを願い、本書の作成に取り組んできました。

多くの方に本書をご活用いただき、各学校における性に関する指導の推進に役立てていただければ幸いです。

おわりに、本書の作成にあたり、多大なご協力をいただきました関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

2019年3月

岐阜県学校保健会 会長 河合 直樹

# 目 次

1 改訂にあたって	3
2 性に関する指導の目標	5
3 教育課程の位置付け	7
4 性に関する指導について ここが知りたい！ ～知りたいことから理解を進める～	9

## (1) 現状と学習内容について (p 9～)

- Q 1 HIV、エイズ及び性感染症の感染者数は減少していますか。
- Q 2 エイズ・性感染症の予防に関する指導は、どの段階で指導をするのがよいですか。
- Q 3 性に関するトラブルとして、どのようなことが起きていますか。
- Q 4 交際において、互いを尊重し豊かな人間関係を築くことができるようにするために、どのような指導が考えられますか。
- Q 5 情報化が進んでいると言われていますが、どのような現状ですか。
- Q 6 スマートフォンや携帯電話等の所持により、どのような問題が起きていますか。
- Q 7 性情報への対処に関しては、どの段階で取り上げるとよいですか。
- Q 8 性に違和感をもっている児童生徒がいると聞きます。日常生活の中で、どのようなことに配慮したらよいですか。
- Q 9 「自分の性に違和感をもっている」と相談を受けた場合、どのように対応することが大切ですか。
- Q 10 「SOGI」という言葉を聞きます。どのような意味ですか。

## (2) 指導にあたって (p 19～)

- Q 11 性に関する指導について、発達の段階を踏まえた指導の留意点を教えてください。
- Q 12 体育・保健体育の「保健」と特別活動の学級活動・ホームルーム活動における「保健に関する指導」には、どのような違いがありますか。
- Q 13 性に関する実態把握をするための調査を行いたいのですが、留意することはありますか。
- Q 14 児童生徒の実態の差が大きいです。どのように指導をすればよいですか。
- Q 15 外部講師を活用したいと考えますが、どのようなことに留意するとよいですか。
- Q 16 特別支援学校や特別支援学級の指導において配慮すべきことはありますか。

5 実践事例	25
--------	----